

**「京都版地域クラブ（仮称）」及び「放課後活動」に係る
愛称等募集の選考状況について**

令和10年度からの部活動地域展開に向けて、子どもたちにとって分かりやすく、親しみをもってもらえるような愛称を募集し、この度、募集結果及び選考状況を取りまとめましたので、御報告します。

なお、正式名称は、「地域クラブ活動」及び「放課後活動」ですが、本市では、ホームページや広告印刷物等で愛称を積極的に使用し、愛称の愛着を図ります。市民の皆様も、積極的な使用にご協力をお願いします。

記

1 愛称等募集の結果

(1) 募集内容

- ① 「京都版地域クラブ（仮称）」の愛称募集
- ② 「京都版地域クラブ（仮称）」のキャッチコピー※募集
※「京都版地域クラブ（仮称）」の魅力の魅力を短く端的に伝え、興味を引くための言葉
- ③ 「放課後活動」の愛称募集

(2) 募集期間 令和7年12月1日(月)から令和7年12月24日(水)まで

(3) 応募資格 市内在住、又は市内に通学通勤されている方

(4) 応募数 応募者数：562人
応募総数：1,075件 ※上記①462件 ②277件 ③336件

(5) 御応募を頂いた方の属性

※重複あり

幼児	小学生	中学生	高校生	大学生
0人	52人	346人	2人	7人
保護者	教職員	スポーツ関係者 (指導者)	文化芸術関係者 (指導者)	その他
100人	23人	7人	3人	25人

2 選考状況

「京都市学校部活動及び地域クラブ活動在り方検討会議」事務局において、上記(1)①～③それぞれについて、優秀な作品を10作品選定。この10作品について、同会議の各委員が審査※しました。審査結果は別紙のとおりです。

※ 審査方法 1位：3点、2位：2点、3位1点として、採点・集計。

「京都版地域クラブ」愛称				
点数	応募数	職業等	「京都版地域クラブ」愛称候補	愛称の説明・選考理由
21	23	小学生 ほか	京クラ (きょうクラ、きょうくら、 今日クラ、kyoクラ、きよー くら、きょークラ)	<p><愛称の説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・短く覚えやすく、言いやすく、愛称がいいと思う。(中学生) ・京都ということがすぐわかるし、クラブということもわかる。(中学生) ・京都の人たちがつながっていくので京クラにした。(中学生) ・呼びやすくて小さい子も覚えやすくて親しみやすい。(中学生) ・京都市独自の取り組みとしてわかるように、親しみやすく、やわらかい愛称にした。(教職員) ・覚えやすい、親しみやすさを考えるとやはりシンプルズベストかなと思う。中学生でも友達同士で呼びやすい愛称だと思う。(保護者) <p><選考理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最も応募数が多く、多世代から支持されている。実際に愛称として使用していただける可能性が最も高いことが予想される。 ・説明にあるとおり、短く、覚えやすく、親しみやすく、柔らかい表現で、愛称に相応しいと思う。 ・シンプルすぎて夢が盛り込めていないものの、愛称としての普及定着という点からはインパクトがあって優れたネーミングだと思う。 ・表現がわかりやすく、京都で一体感のある取組に感じる。
21	12	小学生 ほか	みやこクラブ (みやこくらぶ、京クラブ、 京☆クラブ)	<p><愛称の説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都らしさを前面に出した。(教職員) ・京都の「みやこ」に、開かれた響きの「クラブ」を重ねて「みやこクラブ」とした。ひとつの学校の中に閉じず、在籍校の枠を越えて、地域のさまざまな場所や人につながっていく活動の姿を表している。「クラブ」には初心者も歓迎し、楽しみながら続けられるイメージがあり、子どもも大人も参加したくなる親しみを旨とした。(教職員) ・子ども達に分かりやすく短く言いやすく。☆は、楽しさ、輝き、つながりを意味する。(教職員) <p><選考理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・“みやこ”は京都を連想させシンプルであるが、いろんな思いが1つで表現でき、覚えやすい。 ・シンプルなネーミング、かつ京都らしさも一定あり、面白さに欠けるが、愛称として無理なく定着できそう。 ・漢字の京があるほうが、親近感を感じた。 ・みやこ＝京都であり、端的で呼びやすく覚えやすい。 ・「みやこ」は全国の中心、発信元としての位置づけを自覚したなかでのクラブとしての活動を期待することを込めたネーミング。

「京都版地域クラブ」愛称				
点数	応募数	職業等	「京都版地域クラブ」愛称候補	愛称の説明・選考理由
21	1	小学生	京（みやこ）未来クラブ	<p><愛称の説明> 「このクラブのおかげで、今は京都市が昔よりもよくなった」や、「このクラブはやりがいあって、京都市もよくなった！」など言われるような、クラブになったらいいなという思いで、この名前をつけたというのと、未来の京都市がもっと素晴らしくなりますようにという思いも、込めました。</p> <p><選考理由> ・子どもの未来が輝くよう、未来という言葉が入ることは相応しい。 ・「京都＝みやこ」にすることで、京都市民としての伝統を感じる。 ・地域スポーツクラブとして京都の未来を築く子どもたちを育成することがわかる。 ・クラブに参加する子どもたちが、京都市の活発な活動を他都市に発信できることを担う事を期待。 ・京都らしさと新しい部活動に対する夢も感じられ、内容的には最も優れたネーミングだが、愛称として長すぎて、みやこクラブとか未来クラブとか、略称が普及しそう。</p>
9	1	その他	コトチャレ	<p><愛称の説明> 記載なし</p> <p><選考理由> ・京都らしさと新しいことにチャレンジという意味合いがいい。 ・これまでの部活動・クラブのイメージがない愛称が良いと思ったから。 ・「コト」は、京都の伝統を感じさせ、「チャレ」の部分で長い京都の歴史に新しい風を吹き込むイメージができるため。 ・オシャレである。親しみやすい。</p>

「京都版地域クラブ」愛称				
点数	応募数	職業等	「京都版地域クラブ」愛称候補	愛称の説明・選考理由
9	1	文化芸術関係者（指導者等）	古都ら部（コトラブ）	<p><愛称の説明> 京都の文化的な印象がダイレクトに伝わるように「古都」という言葉を用いた。クラブ活動という運動部をイメージしがちだが、京都ならではの文化部を、もっと活発化させるといいのではと考え、このような思いから、「古都ら部」と名づけた。表記は親しみやすくするためにカタカナでもよいかと考える。</p>
				<p><選考理由> ・運動系だけでなく、文科系も含めてイメージしやすい。 ・カタカナが親しみやすいと思う。 ・これまでの部活動・クラブのイメージがない愛称が良いと思ったから。「部」の文字はなくしてカタカナ表記がよいと思う。 ・文化とスポーツの新しい形のイメージが強い。</p>
6	1	保護者	洛楽lab（らくらくらぶ）	<p><愛称の説明> 洛（京都）の楽しいクラブと言う意味と、大学や大学院の研究室（labラボ）が多い市内の特徴から、研鑽を積む、と言う意味を込めて、クラブとlabを重ねた。</p>
				<p><選考理由> ・京都らしさと楽しいが一緒になって表現がいい。 ・これまでの部活動・クラブのイメージがない愛称が良いと思ったから。 ・地域として洛中、洛外等を意識した市全体が一体となった活動ができるようなネーミング。</p>

「京都版地域クラブ」愛称				
点数	応募数	職業等	「京都版地域クラブ」愛称候補	愛称の説明・選考理由
2	1	中学生	Enjoy Club	<p><愛称の説明> 楽しいクラブにしてほしいから。</p>
				<p><選考理由> ・楽しいクラブを目標にしてみたい。</p>
1	1	中学生	京都っ子クラブ	<p><愛称の説明> 京都で京都の人に教えてもらって、京都のこどもが成長していくという意味。</p>
				<p><選考理由> 記載なし</p>

「京都版地域クラブ」愛称				
点数	応募数	職業等	「京都版地域クラブ」愛称候補	愛称の説明・選考理由
0	2	小学生 ほか	let's 京都クラブ (Let's kyotoクラブ)	<p><愛称の説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなクラブでも、まえをむいてがんばってほしいという想いがあり、let'sというのはわたしてきに元気をつけられるなどおもっている。(小学生) ・京都でのクラブなので「kyoto」を入れた。Let'sにはたくさんの人と取り組む！という意味。(中学生)
				<p><選考理由></p> <p>記載なし</p>
0	1	大学生	洛スポ	<p><愛称の説明></p> <p>洛は京都を表す言葉として使われていたことに加え、スポーツのスポを加えて語呂をよくしてみた。洛活も考えたが、洛スポの方が言葉が柔らかく、覚えてもらいやすそうに感じた。</p>
				<p><選考理由></p> <p>記載なし</p>

「京都版地域クラブ」 キャッチコピー				
点数	応募数	職業等	「京都版地域クラブ」 キャッチコピー候補	キャッチコピーの説明
18	1	保護者	「好き」が見つかる、 「まち」が広がる。	<p><キャッチコピーの説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の枠を超え地域全体で活動する事で、子ども達一人一人が自分の「好き」や「やってみたい事」に出会える場 ・地域の様々な大人や仲間と関わる事で、活動の場だけでなく、人との繋がりがや行動範囲が広がり、街全体が学びの場になるという意味を込めている。「好き」という個人の気持ちの発見と、「街」という社会とのつながりの広がりを、短く親しみやすい言葉で表し、中学生がワクワク参加できるコピーを目指した。
				<p><選考理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクワク感が最もある。私たちが目指すべき方向性を示すキャッチコピー。 ・子どもたち一人一人がそれぞれの「好き」を見つけ、まち全体がそれを支えるという思いを表現していると思う。 ・地域クラブというものを全面に出すならば、好きとまちとのつながりは良い。 ・趣旨の一部を誇張しすぎることなく、最も部活動地域展開の全体イメージに近い内容を表現できている。 ・好きだからこそ頑張ることができ、活動を通して、子どもも大人もつながりを深め、まちの活性化につながる事がわかるキャッチコピーである。
13	1	保護者	まち全体が、 ぼくらの部室になる。	<p><キャッチコピーの説明></p> <p>地域で行う新しい活動のしぐみを、「まち全体＝部室」というイメージで表現しました。学校の枠をこえて、さまざまな場所や地域の大人と出会い、仲間と一緒に好きなことに取り組める楽しさを伝えています。放課後の可能性が広がり、まちが子どもたちの居場所や学びの場になるという思いを込めたキャッチコピーです。</p>
				<p><選考理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市全体で協力し合っている活動であるイメージが、掴みやすく、入りやすいと感じられるから。 ・京都版地域クラブのことをイメージしやすかった。 ・ぼくらの所は、変更しても良いかと思う。 ・部室の価値観が広がる、新たな言葉にインパクトがある。 ・子どもにとって地域が新たな学びの場であることを表している。

「京都版地域クラブ」キャッチコピー

点数	応募数	職業等	「京都版地域クラブ」 キャッチコピー候補	キャッチコピーの説明
11	1	教職員	出会いはきっとそこにある	<p><キャッチコピーの説明> 自分の地域内ではあるけど、違う学校の仲間達がそこにはいるから、そこに新しい出会いがあり、その出会いからまた新たな出会いに繋がっていくから。新しい出会いが生徒達の人生を豊かにしてくれたらと思う。</p> <p><選考理由> ・これまでの部活動やクラブとは全く異なる形なので、出会いという言葉が良い。 ・人とのつながりの大切さと、活動との出会いのへの期待感の両方をイメージできる。 ・地域クラブ活動を通して、新しい出会いをしてほしい、それが将来につながるという思いに共感する。 ・中学生にとって、学級、学年、学校の枠を超えて多様な人間関係を取ることができる場であることを表している。</p>
8	1	その他	発見、新しい私。	<p><キャッチコピーの説明> まずやってみて、成長した新しい私を見つけよう！見つからなければ、また次のコトをやってみよう！</p> <p><選考理由> ・自分の可能性を探す（発見できる）イメージを大きく持つことができる。 ・新しい私をみつけてほしいという思いに共感する。 ・自分自身をやりたいこと、将来も目標の実現に向かって広範囲な選択肢が設定している京都版地域クラブを構築するに相応しいキャッチコピー。 ・割り切って「発見」に振り切った結果、従来の部活とは違う地域展開の趣旨を表現するメッセージにはなっていないが、地域クラブに興味を持ってもらうためのキャッチコピーとしては期待できる。</p>

「京都版地域クラブ」キャッチコピー

点数	応募数	職業等	「京都版地域クラブ」 キャッチコピー候補	キャッチコピーの説明
6	1	中学生	あ、楽しい！	<p><キャッチコピーの説明> みんなが楽しいと思える活動になってほしいから</p>
				<p><選考理由> ・このメッセージから部活動地域展開の全体イメージはわからないが、地域展開の趣旨をたった一言に絞るなら、他の内容はすべて割愛して「楽しい」だけにフォーカスするのはアリだと思う。地域クラブに興味を持ってもらうためにもインパクトがあるキャッチコピーだと思う。 ・感情が表現されていてわかりやすい。 ・シンプルで、わかりやすい。</p>
6	1	中学生	ALL kyoto ONE TEAM!!	<p><キャッチコピーの説明> みんなが一つのチームになってみんなでkyotoになる</p>
				<p><選考理由> ・1つのチームというのがみんなでやっていく感じがしていいと思う。 ・一体感があり、全員で京都の町をつくるイメージがある。 ・京都、地域全体で、取り組むということが、強調されている。</p>

「京都版地域クラブ」キャッチコピー

点数	応募数	職業等	「京都版地域クラブ」 キャッチコピー候補	キャッチコピーの説明
5	1	スポーツ関係者（指導者等）	古都でラボリユーション！	<p><キャッチコピーの説明> 古都京都で、ラボ（研究室、試験場等）に集まり、新しい取り組み（レボリユーション）をみんなで楽しみましょう。ラボリユーションは、ラボとレボリユーションを組み合わせた造語です。</p> <p><選考理由> ・ラボリユーションという言葉がいい。 ・古都とラボのコラボが良い。</p>
5	1	中学生	みんなで作る思い出の場所	<p><キャッチコピーの説明> クラブ活動があることによっていろんな人とのつながりがあり、人生の中で活かせるような思い出になればいいなという思いです。</p> <p><選考理由> ・思い出の場所は大事にしたいと誰もが創造できる。 ・思い出作りをしてもらいたい。 ・新しく出来る京都版地域クラブに集まる仲間と共に、3年間を通してたくさんの思い出と豊富な経験ができるクラブにするためのキャッチコピー。</p>

「京都版地域クラブ」 キャッチコピー

点数	応募数	職業等	「京都版地域クラブ」 キャッチコピー候補	キャッチコピーの説明
4	1	中学生	みんなで作る笑顔の居場所	<p><キャッチコピーの説明> 1人で作るのではなくみんなで笑顔の場所を作るという意味</p> <hr/> <p><選考理由> ・やりたいことをやりたいと思う人が集まって、笑顔で活動できれば良いと思った。 ・新しく出来る京都版地域クラブに集まる仲間と共に、笑顔が絶えず活動が活発になるようなクラブにするためのキャッチコピー。</p>
3	1	保護者	京都で、今日から、 これからも。	<p><キャッチコピーの説明> 京都で、今日から、は言わずもがなですが、『これからも』というのは、地域の方に支えてもらった事で、後に自分も支えたいという未来も抱けるように。</p> <hr/> <p><選考理由> ・未来志向でいい</p>

「放課後活動」愛称				
点数	応募数	職業等	「放課後活動」愛称候補	愛称の説明
23	30	小学生 ほか	ほうかつ (放活、ほうかつ！、ほーカ ツ、ホウ活、ホウカツ)	<p><愛称の説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・短く覚えやすいと思った。(小学生) ・放課後にたくさんのひとが通うから気持ちが一つになってもらいたいという思い。(中学生) ・「ほうかつ」は「放課後活動」を短くした言葉で、子どもたちが覚えやすく、気軽に使える愛称にした。学校の放課後に、安心して集まり、友だちと楽しく過ごしなが ら、自分のやりたいことに挑戦できる時間であることを表している。「今日、ほうか つある？」と自然に会話に出てくる、身近で親しみのある活動になってほしいという 思いを込めた。(保護者) <p><選考理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最も応募数が多く、多世代から支持されている。実際に愛称として使用し ていただける可能性が最も高いことが予想される。 ・短く、覚えやすく、親しみやすい表現で、愛称に相応しいと思う。 ・愛称というより略称だが、放課後活動という名称自体がわかりやすく、別 な愛称をつけるより自然に多くの方に普及するのではないかと感じる。 ・放課後を有効活用していることがわかりやすい。 ・生徒間での放課後で活動を端的にわかりやすく総合に認識できる愛称。
9	1	中学生	ほかていぶ	<p><愛称の説明></p> <p>放課後の活動(あくていぶ)呼びやすくした。</p> <p><選考理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後をイメージしやすく、呼びやすい。 ・とにかくわかりやすい。 ・言いやすそう。 ・キャッチーで、呼びやすい。

「放課後活動」愛称				
点数	応募数	職業等	「放課後活動」愛称候補	愛称の説明
8	1	保護者	きらめきタイム	<p><愛称の説明> 中学生になると、小学生の時とは違い、お勉強や部活にと色々忙しく、生徒の表情にも疲れが見えていたりする。でも放課後活動は、生徒たちがどうしていきたいかやりたいことを考えて生徒発信で取り組めるので、今しかない中学校生活の一部として、よりイキイキと充実した時間となってくれそうで、また、一人一人にとってそういう時間となってくれることを願って、「きらめきタイム(活動)」と考えた。</p>
				<p><選考理由> ・生徒と教職員の希望者だけが集まる場所には「きらめき」という言葉がふさわしいと感じた。 ・放課後の活動において、生徒それぞれが新しい出会い、発想ができる活動が場を提供できる放課後活動の愛称名。 ・わくわく感と自分を磨けるイメージを感じ取れるから。 ・そうなればいいイメージが。</p>
7	4	保護者 ほか	あふすく (京☆アフスク、アフスク)	<p><愛称の説明> ・アフタースクールから「あふす」、活動を「くらぶ」として「ク」を取り、あふすく。ドラえもんのように、あえてひらがなとカタカナを合わせることで、言葉の区別がつくようにして、略して言いやすい方が子どもたちにも浸透すると思うので。(保護者) ・読み方→みやこ☆アフスク 京=みやこで京都を表現。アフスクは、アフタースクールの略で短く言いやすく。☆は、楽しさ、輝き、つながりを意味する。(教職員)</p>
				<p><選考理由> ・かわいくてなじみやすいと思う。 ・短く、覚えやすく、親しみやすい表現で、愛称に相応しいと思う。 ・親しみやすい。 ・それぞれの頭文字があることで言葉の意味を理解できる。</p>

「放課後活動」愛称				
点数	応募数	職業等	「放課後活動」愛称候補	愛称の説明
7	1	中学生	夕やけ活動	<p><愛称の説明> 5時くらいまで部活動をしていたから夕やけまでやっているという意味。</p>
				<p><選考理由> ・活動の趣旨が、自然の情景から想像できるから。 ・夕方の活動という意味がよくわかる。 ・午後から日暮れまでのクラブ活動と通じて、夕やけを背に元気よく活動できる放課後活動を目指す愛称名。 ・少し子どもっぽいがわかりやすい。</p>
7	1	中学生	アフターチャレンジ (アフチャレ)	<p><愛称の説明> 放課後 → アフタースクール</p>
				<p><選考理由> ・チャレンジという前向きな言葉が入っている点を評価しました。アフターよりわかりやすい放課後を使って「放課後チャレンジ ほうチャレ」という表現もありかと思う。 ・何でも言葉を短くするのが流行ってるから。 ・放課後にチャレンジをする活動の意味を理解しやすい。</p>

「放課後活動」愛称				
点数	応募数	職業等	「放課後活動」愛称候補	愛称の説明
7	1	保護者	きょうと 放課後プラス	<p><愛称の説明> 「きょうと 放課後プラス」は、学校の放課後に、生徒が主体的に取り組める活動の機会を広げる京都市独自の取組。各校の実情に応じて、スポーツや文化芸術など多様な活動を行い、地域や人との関わりを通して学びや成長を深める。学校生活に“プラス”の学びと居場所を生み出し、一人ひとりの興味や意欲を大切に育てる。</p>
				<p><選考理由> ・プラスという表現が前向きで素敵。 ・少し長いと感じますが、わかりやすいと思う。 ・「プラス」新見を持たせたい。 ・10案の中では、比較的わかりやすく、スマートな愛称だと思う。「プラス」も意味的には素晴らしいが、少し伝わりにくさは感じる。</p>
6	1	教職員	みやこひろば	<p><愛称の説明> みやこクラブに並んだときに変にならないように。また行っても行かなくてもよいという意味。</p>
				<p><選考理由> ・みやこクラブと、セットになれば、親しみやすく言葉の響きも良く、分かりやすいから。 ・ひろばという言葉の響きが人が集まるようなイメージを連想させる。</p>

「放課後活動」愛称				
点数	応募数	職業等	「放課後活動」愛称候補	愛称の説明
4	1	小学生	放課後フリーワーク	<p><愛称の説明> 自分たちで決めるのでフリーをつけた。</p>
				<p><選考理由> ・フリーワークとすることで、「放課後活動」で表現できていない自分たちで決めるというニュアンスが加わっている。10案の中では、比較的わかりやすい愛称だと思う。 ・放課後の活動であることが分かりやすい。</p>
0	1	保護者	放課後フリースタイル	<p><愛称の説明> スキーやスケートのフリースタイルに着想して、中学校の放課後の枠組みの中だけど、自己表現の活動ができる時間帯である事を印象付ける名称にした。</p>
				<p><選考理由> 記載なし</p>

その他のご意見

- ・名称、愛称とも、完全な重複ではなくても「聞いたことあるかも？」と感じる名称は避けたい。
- ・小学生の意見と中学生に傾向の違いがあるように感じる。現在の中学生の感覚に近いもので決められるのが良いと感じた。
- ・キャッチコピーは、大人(提供する側)が知恵を絞ったほうが何を届けたい取り組みになるのかわかるのではないか。
- ・放課後活動は、愛称が「ほ〜かつ」or「ほうかつ」になる名称が望ましい。